

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年4月28日 NO.8 (308)



オー君 「あれあれ?何^{なに}をやっているんだろう。」

花ちゃん 「モンタ博士とフッタ博士がいますね。」

オー君 「モンタ博士!何^{なに}をやっているのですか。」

モンタ博士 「見てのとおりだよ。木^きに穴^{あな}をあけているんだよ。」

花ちゃん 「フッタ博士!何^{なん}のためにあけているのですか。」

フッタ博士 「シイタケづくりのために穴^{あな}をあけているんだよ。」

オー君 「ギョ!え!シイタケ?」

花ちゃん 「シイタケづくり?どうして木^きが必要^{ひつよう}なのですか。」

オー君 「シイタケはスーパーマーケットか八百屋さんに行けばあるんでしょ。」

モンタ博士 「そうじゃないんだな。シイタケをみんなで作^{つく}ろうということなんだ。」

花ちゃん 「シイタケを作る?どういうことですか。フッタ博士!」

フッタ博士 「スーパーマーケットや八百屋さんに並^{なら}ぶ前^{まえ}にね、シイタケは農家^{のうか}の人^{にん}などが作^{つく}るんだよ。それを国立七小^{くにたちななしょう}の子供^{こども}たちみんなでやろうというわけさ。」

オー君 「ギョ!え!しいたけをみんなで作^{つく}る?」

花ちゃん 「自分たちで作るなんてとっても楽しそうですね。わくわくドキドキですね。」

モンタ博士「そうだよ。みんながわくわくドキドキ体験ができるようにいろいろと考えているんだよ。」

フッタ博士「シイタケを作るには、ほだ木とシイタケ菌が必要なんだけど知ってた。」

オー君 「まったく知りませーん、ほだ木って何ですか。」

花ちゃん 「シイタケ菌ってなんですか。」

モンタ博士「ほだ木とは、シイタケを作るための木で、コナラやくヌギを使うんだ。このほだ木は、佐藤一夫市長さんのおうちからいただいたものなんだ。」

オー君 「へえー。うれしいですね。ありがたいですね。どうもありがとうございます。」

フッタ博士「それから、シイタケ菌ってというのはね、シイタケをつくるための元となるものなんだ。あらかじめ菌を植え付けた『コマ』というものがあるんだよ。」

オー君 「へえー。そうなんだ。それからそれから。」

モンタ博士「今、コナラやくヌギの木に『コマ』を植えるための穴をドリルであけているというわけなんだよ。」

フッタ博士「穴をあけるのはドリルを使うので危ないので、大人がやっているんだよ。」

花ちゃん 「私たちも何か手伝うことはないのですか。」

モンタ博士「そうだね。それじゃ、『コマ』を植える作業を一緒にやろう。800個もあるんだよ。みんなでやろう！みんなでやろう！」

オー君 「わーい！おもしろそうだ。楽しそうだ。いつやるのですか。」

フッタ博士「そうだね。それじゃ、準備ができればまた連絡するね。」

モンタ博士「さて、明日からゴールデンウィーク。無事故で楽しいお休みにしましょう。」

